

研究活動報告(アルファベット順)

2011年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名、(専門領域)、I.著訳書、II.学術論文、III.その他の著作(研究ノート、ニュースレター、報告書、雑誌、新聞等)、IV.学会発表、V.その他の発表(シンポジウム、講演、放送等)、VI.学会および公的な機関の委員、VII.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

智原 哲郎(ちはら・てつろう) [言語テスト、英語教育]

II. 学術論文

- (1) 「特色GPと短期大学学士課程教育の教育改革」, 絹川正吉・小笠原正明(編)『特色GPのすべて』, 大学基準協会, pp. 214-225, 2011年3月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 『「地と技の創成」を掲げた短期大学英語教育の試み』, 第11回短期大学英語教育研究会, 於: カリタス女子短期大学, 2011年12月3日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「高等教育機関としての大学に求められる英語教育」, (株)SIGEL 英語教育の新たな試み～事例紹介セミナー, 於: 京都, 2011年9月9日

Cline, William (クライン・ウィリアム) [English Education]

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Timely Intervention for Student Success.” *Bulletin of The Society for English Language and Culture Otemon Gakuin University*, No. 20, pp. 97-101, 2011年

Cornwell, Steve (コーンウェル・スティーブ) [Education, Language Teaching]

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Interview with Ken Wilson, Author, Teacher, and Teacher Trainer.” *The Language Teacher*, 2011年7月, 共著

IV. 学会発表

- (1) “Mirror, mirror on the wall, Can you help me be the best of them all? [Plenary speech on reflective teaching].” Daejon-Chungcheong Chapter of KOTESOL, 於: Seoul, Korea, 2011年11月26日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Five-Minute Activities for Motivation.” BELTA & East West University, 於: Dhaka, Bangladesh, 2011年7月22日
- (2) “Error Correction: What can we learn from research?” BELTA & East West University, 於: Dhaka, Bangladesh, 2011年7月23日
- (3) “Five things I learned from my students.” BELTA & East West University, 於: Dhaka, Bangladesh, 2011年7月23日
- (4) “Five-Minute Activities for Motivation.” BELTA Rajshahi University, 於: Rajshahi, Bangladesh, 2011年7月25日
- (5) “Five things I learned from my students.” BELTA Rajshahi University, 於: Rajshahi, Bangladesh, 2011年7月25日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) Board of Directors, Japan Association for Language Teaching, Director of Program, November 2010 through present
- (2) Editorial Advisory Board, JALT Journal, Read and Evaluate Manuscripts, 2009-present
- (3) Editorial Advisory Board The Language Teacher, Read and Evaluate Manuscripts, 1997 to present
- (3) Conference Chair for Asian Conference on Language Learning, Osaka, 2011年6月10日～12日
- (4) Conference Chair for Asian Conference on Technology in the Classroom, Osaka, 2011年6月10日～12日

夫 明美(ふ・あけみ)〔第二言語習得, 中間言語語用論〕

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 巻頭エッセイ「絆」, 『教員養成センター Newsletter』4号, 2011年1月12日, 単著
- (2) リレー随筆「間違いを恐れない覚悟」, 『教員養成センター ホームページ』第15号, 2011年4月1日, 単著
- (3) リレー随筆「*Stand with grace, pride, and modesty*」, 『教員養成センター ホームページ』第19号, 2011年8月1日, 単著
- (4) 授業の玉手箱「ことばは生きている」, 『教員養成センター Newsletter』6号, 2011年4月8日, 単著
- (5) 書籍案内「道を歩けば前置詞がわかる」, 『教員養成センター Newsletter』7号, 2011年10月7日, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) “Identity construction through teaching practicum in an EFL context.” Ipra, 於: Manchester, 2011年7月7日

Fujimoto, Donna (フジモト・ドナ)〔Teaching English as a Foreign Language / Intercultural Studies〕

Ⅳ. 学会発表

- (1) “From research to praxis, Temple University Applied Linguistics Colloquium.” 於: Temple University Japan, Osaka branch, 2011年2月13日
- (2) “Investigating agreement and disagreement in EFL classroom discussion.” TESOL Convention, 於: New Orleans, LA, 2011年3月17日
- (3) “When race trumps credentials, Non Native English Speaking Teachers.” TESOL Convention, 於: New Orleans, LA, 2011年3月18日
- (4) “Fluency: The interactive support of speaker and listener.” Pan SIG JALT conference, 於: Matsumoto, Nagano, 2011年5月21日
- (5) “Intercultural training for exchange student programs.” Pan SIG JALT conference, 於: Matsumoto, Nagano, 2011年5月22日
- (6) “Bringing Conversation Analysis into the language classroom.” JALT Annual conference, 於: Tokyo, 2011年11月19日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) SIETAR Kansai (Society for Intercultural Training, Teaching and Research); Program Chair, 2011年1月～12月
- (2) Pragmatics Special Interest Group, JALT; Program Chair, 2011年1月～12月
- (3) Contrast Culture Method Special Interest Group, SIETAR; Coordinator, 2011年1月～12月
- (4) Nikkei Gathering; Coordinator, 2011年1月～12月

- (5) Intercultural Communication Interest Section, TESOL, Member-At-Large, 2011年1月～12月
- (6) CAN-Asia(Conversation Analysis Network, Asia); Coordinator, 2011年1月～12月

井上 文彦(いのうえ・ふみひこ) [カウンセリング, ゲシュタルト療法]

IV. 学会発表

- (1) 「スーパービジョンにおける“いま・ここ”の意味と効用」, 日本人間性心理学会, 於: 愛知教育大学, 2011年10月9日
- (2) 研究発表第一部門「ゲシュタルト療法と体験」座長, 日本臨床ゲシュタルト療法学会, 於: 追手門学院大学大阪城スクエア, 2011年12月18日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「カウンセリング概論」, 関西いのちの電話, 於: 博愛社, 2011年5月19日
- (2) 「マイクロ・カウンセリングを取り入れたロールプレイ連続実習」, 於: 関西カウンセリングセンター, 2011年5月22日・5月29日
- (3) 「ゲシュタルト療法ワークショップ」, 日本ゲシュタルト療法研究所, 於: 高野山普賢院, 2011年8月5～8日
- (4) 「グループ・カウンセリング I (実習)」, 関西カウンセリングセンター, 於: PLP会館, 2011年7月4日
- (5) 「グループ・カウンセリング II (実習)」, 関西カウンセリングセンター, 於: PLP会館, 2011年7月11日
- (6) 特別講義「学びの総点検」, 於: 関西カウンセリングセンター, 2011年10月2日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 関西いのちの電話 理事 2006年10月～
- (2) 日本臨床ゲシュタルト療法学会 常任理事(副理事長) 2010年12月～

Johnston, Scott (ジョンストン・スコット) [Internationalizing the campus, Expanding study abroad, helping students develop intercultural communication skills, and developing writing centers]

IV. 学会発表

- (1) “Writing Centers in Japan. WCNYC’s 1st Annual Conference on Writing Center Theory and Practice.” Pace University, 於: NYC, 2011年11月13日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) MEXT. Examine English textbooks for junior and senior high schools. Year long.

香川 孝三(かがわ・こうぞう) [労働法, アジア法]

I. 著訳書

- (1) “Japan” in Towers Watson Data Services ed., *2011 Employment Terms and Conditions –Asia Pacific.*, Towers Watson Data Services, pp. 197-225, 2011年2月, 共著
- (2) 「人権保障のメカニズム」, 黒澤満編『国際関係入門』, 東信堂, 47-68頁, 2011年6月, 共著

II. 学術論文

- (1) 「アジアにおけるILOの技術協力」, 『世界の労働』 61巻3号, 46-53頁
- (2) 「労働分野におけるアジア向け国際協力の現状と問題点」, 『季刊労働法』 233号, 166-179頁
- (3) 「アジアにおけるストライキ中の賃金問題」, 渡辺章先生古希記念論文集『労働法が目指すべきもの』, 信山社, 97-125頁, 2011年12月
- (4) 「アジアにおける非正規労働の問題点」, 『アジア法研究』 5号, 17-25頁, 2011年12月

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) Case Comment, “Showa Shell Petroleum Ltd. v. Mitsue Nozaki.” Supreme Court (First Petty

- Bench), Judgment, *International Labour Law Reports*, vol. 29, pp. 3-9, 2009年1月22日
- (2) 講演記録「アジアの児童労働」, 『京都女子大学・現代社会研究』13号, 146-147頁, 2011年1月
 - (3) 講演記録「ベトナムの戦禍を超えて一竹と詩の国のいまは」, 京都生涯教育研究所編『京都から環境と文化を考える』, 京都生涯教育研究所, 62-65頁, 2011年3月
 - (4) 「働く人の人権」, 財団法人アジア太平洋人権情報センター編『人を大切に一人権から考えるCSRガイドブック』, 財団法人アジア太平洋人権情報センター, 4-9頁, 2011年3月
 - (5) 巻頭言「労働法分野における法整備支援」, 『労働法律旬報』1744号, 1-2頁, 2011年5月
 - (6) 報告「日本よりすずしいインド」, AVC編『インド・スタディーツアー報告—2010年夏報告』, AVC, 29-32頁, 2011年6月
 - (7) 判例評釈「技能実習生の第一次受け入れ機関に損害賠償責任を認めた事例—プラスアパレル事件」福岡高裁平成22年9月13日判決, 『ジュリスト』1424号, 130-133頁
 - (8) 書評「ヌスタ・シータイ、ジョン・J・ローラー、クリス・ローラー、鈴木宏昌編「アジアの知識を基盤とする経済における労使関係の多面性」, 『日本労働研究雑誌』612号, 66-67頁, 2011年7月
 - (9) 報告「インド社会の変化を感じる旅」, AVC編『インド・スタディーツアー—2011年夏報告』, AVC, 19-21頁, 2011年11月

IV. 学会発表

- (1) 「アジアのワークライフバランス」, 日本ジェンダー学会, 於: 同志社大学, 2011年9月10日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 講演「労働契約法」, IMF・JC労働リーダーシップコース, 於: 関西セミナーハウス, 2011年1月18日
- (2) 研究報告「プラスアパレル事件」, 東京大学労働判例研究会, 2011年4月8日
- (3) 講演「政尾藤吉の果たした役割」, 岡山大学国際交流センター, 2011年6月15日
- (4) 講演「日本とベトナムの交流史」, 財団法人京都国際文化協会, 於: 京都府国際センター, 2011年9月21日
- (5) 講演「法整備支援の枠組みと支援従事者」, 神戸大学大学院国際協力研究科, 2011年10月6日
- (6) 講演「アジアの政治と社会・労働」, 神戸製鋼労働組合, 2011年10月28日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本ジェンダー学会 副代表
- (2) 日本労務学会 理事・学会賞審査委員
- (3) アジア法学会 理事・学術奨励賞審査委員会委員長
- (4) 兵庫県労働運動史編纂委員会 委員長
- (5) IMF・JC労働リーダーシップコース 副校長・運営委員
- (6) NPO法人アジアボランティアセンター 副代表・理事
- (7) 社団法人関西国際産業関係研究所 理事・主任研究員
- (8) 国際京都学協会 常務理事
- (9) 竹文化振興協会 理事
- (10) 京都生涯教育研究所 理事
- (11) 宝ホールディングス株式会社 監査役
- (12) 宝酒造株式会社 監査役
- (13) Asian Society of Labour Law, Member of Executive Board

VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「東アジアにおける非典型雇用の法的・実証分析」 科研費基盤研究(B) 研究分担者(代表 藤川久昭青山学院大学教授) 2011年~2013年

梶原 直美(かじはら・なおみ)〔歴史神学(古代キリスト教思想史)〕

II. 学術論文

- (1) 『『主の祈り』におけるパンを求める祈りに関するオリゲネスの理解について』、『神學研究』58巻, 2011年3月20日, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「イエスにならって一キリスト教主義大学の意義と課題」、『キリスト教教育』11号(848巻), 2011年11月15日, 単著

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) キリスト教学校教育同盟 大学部会関西地区委員 1998年4月より現在まで
(2) キリスト教学校教育同盟 中央教育研究委員 2002年4月より現在まで
(3) 全国大学チャプレン会 理事 2010年7月より現在まで

加藤 映子(かとう・えいこ)〔言語習得, コンピュータを利用した教育〕

II. 学術論文

- (1) 「語学教育とゲーム」、『Computer & Education』vol. 31, 2011年11月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「なぜ教科学習に母語が大切か」、『大阪女学院大学 国際共生研究所Newsletter』第4号, 2011年11月, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「日米保育事情。絵本の読み聞かせの持つ意味の相違から教育を考える」, 夢ナビライブ 国立大学・私立大学 合同進学ガイダンス in Osaka, 2011年7月12日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 言語科学会 運営委員
(2) コンピュータ利用協議会 国際交流委員会委員
(3) Apple Distinguished Educator (ADE)

小松 泰信(こまつ・やすのぶ)〔図書館情報学〕

I. 著訳書

- (1) 書評: 「ブックビジネス2.0: ウェブ時代の新しい本の生態系」, 『図書館界』63(1), 2011年, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 基調講演「電子書籍制作から図書館での学習デザインまで」, 大学図書館協議会阪神地区研究会, 2011年8月5日

黒澤 満(くろさわ・みつる)〔国際法, 国際関係論〕

I. 著訳書

- (1) 『核軍縮と世界平和』, 信山社, 307頁, 2011年4月, 単著
(2) 『国際関係入門- 共生の観点から -』, 東信堂, 187頁, 2011年6月, 編著, 執筆「第1章 国際的平和と安全保障」(1-24頁)
(3) 『核軍縮入門』, 信山社, 138頁, 2011年7月, 単著

II. 学術論文

- (1) “New Trend and Future Direction of Nuclear Disarmament.” *Osaka University Law Review*, No. 58, pp. 135-158, 2011年2月, 単著
(2) “2010 NPT Review Conference and Nuclear Disarmament.” 『大阪女学院紀要』第7号, pp. 67-85, 2011年3月, 単著, 査読

- (3) 「2010年運用検討会議の検証」, 『核兵器のない世界』に向けた課題の検討』日本国際問題研究所, 軍縮・不拡散促進センター, 1-10頁, 2011年3月, 単著, 査読
- (4) 「核兵器不使用の論理と課題」, 『阪大法学』第61巻第3・4号, 285-309頁, 2011年11月, 単著

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「ヒロシマに要人多数72人」, 『讀賣新聞』, 2011年1月1日, 単著
- (2) 「軍縮／平和」, 『imidias e Library 2011』集英社, 2011年2月, 単著
- (3) 「核兵器禁止条約制定へ議論開始を」, 『聖教新聞』, 2011年3月7日, 単著
- (4) 「核軍縮に関する国際情勢(18):新START条約と今後の課題」, 『平和の風』第18号, 13-16頁, 2011年7月, 単著
- (5) 「国連軍縮会議に向けて:世界の人と論じあおう」, 『信濃毎日新聞タウン情報』, 2011年3月22日, 単著
- (6) 「専門家と市民対話を 軍縮学会会長、木祖村訪問」, 『信濃毎日新聞』, 2011年7月27日, 単著
- (7) 「平和教育の大切さ説く 日本軍縮学会会長黒沢さんが木祖訪問」, 『市民タイムス』, 2011年7月27日, 単著
- (8) 「日本軍縮学会会長黒沢満さん 国連会議の意義強調」, 『中日新聞』, 2011年7月27日, 単著
- (9) 「原子力と人類は共存できるか」, 『信濃毎日新聞』, 2011年7月29日, 単著
- (10) 「核兵器のない世界に向けての国際法の役割-2010年NPT再検討会議の議論を中心に」, 大阪弁護士会『弁護士研修講座』No. 339, 40頁, 2011年12月, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) “U.S. Policy toward North Korean Nuclear Issues.” US-Japan-ROK Trilateral Nuclear Dialogue, 於: Washington D.C., U.S., 2011年2月28日~3月1日
- (2) “Implication of Fukushima for Nuclear Power, Non-proliferation and Trilateral Cooperation.” US-Japan-ROK Trilateral Nuclear Dialogue, 於: Seoul, Republic of Korea, 2011年6月16~17日
- (3) 「新START後の核軍縮に向けた諸提案とその評価」, 平成23年度外務省委託研究会, 於: 東京, 2011年10月7日
- (4) 「新START後の核軍縮の課題」, 日本平和学会秋季研究大会, 「軍縮・安全保障」分科会, 於: 広島, 2011年10月29日
- (5) “Prospect for WMD Disarmament and Non-Proliferation.” The 10th ROK-UN Joint Conference on Disarmament and Non-Proliferation, 於: Jeju, Republic of Korea, 2011年11月7日~8日
- (6) “Nuclear Security and Japan.” US-Japan-ROK Trilateral Nuclear Dialogue, 於: Washington D.C., U.S., 2011年12月8日~9日

Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「核軍縮の現状と今後の課題」, 日本赤十字社, 於: 東京, 2011年1月21日
- (2) 「核軍縮の現状」京都外国語大学国際教養学科軍縮セミナー『国際平和と軍縮の課題』, 於: 京都市, 2011年1月24日
- (3) 「2010年NPT再検討会議の結果に対する評価」第20回長崎市平和推進専門会議, 日本非核宣言自治体協議会研修会, 於: 大阪府八尾市, 2011年2月4日
- (4) 「核廃絶はいつまでに可能か? - NPT再検討会議の成果とその意義」, 非核の政府を求める兵庫の会, 第25回総会記念講演, 於: 神戸, 2011年2月20日
- (5) 「核軍縮に関する提言の構想」国際ステューデント・プレゼンテーション, 於: さいたま市, 2011年7月22日
- (6) “Urgent and United Action toward A Nuclear-Weapon-Free World.” The 23rd United Nations Conference on Disarmament Issues, 於: Matsumoto, Nagano, 2011年7月27日~29日
- (7) 「国連軍縮会議 in 松本の成果」国際草の根軍縮会議 in 松本『核廃絶と原発災害:いのちの未来をひらくために』, 於: 松本, 2011年7月29日

- (8) 「核兵器廃絶に向けて何をすべきか」 連合2011年平和シンポジウム in 広島, 於：広島, 2011年8月5日
- (9) 「核軍備管理・軍縮」平成23年度軍縮・不拡散講座, 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター, 於：東京, 2011年9月28日
- (10) 「核軍縮の現状と課題」NHK勉強会, NHK, 於：東京, 2011年11月28日
- (11) 「核軍縮・核不拡散における最近の動向」核軍縮・核不拡散における最近の動向に関する意見交換会, 外務省, 於：東京, 2011年11月28日
- (12) 「新START条約後の核軍縮の課題」朝日新聞社勉強会, 於：大阪, 2011年12月2日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本軍縮学会 会長
- (2) 世界法学会 監事
- (3) 財団法人核物質管理センター 理事
- (4) 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター 客員研究員
- (5) 長崎市平和推進専門会議 委員
- (6) Editorial Board of the Nonproliferation Review Member
- (7) 核戦争防止医師会議大阪府支部 特別顧問
- (8) 国立大学法人長崎大学核兵器廃絶研究センター設置検討委員会 委員
- (9) 独立行政法人日本原子力研究開発機構核不拡散科学技術フォーラム 委員

馬淵 仁(まぶち・ひとし) [教育社会学, 多文化共生社会論, 異文化間教育]

I. 著書

- (1) 『「多文化共生」は可能か－教育における挑戦』, 勁草書房, 224頁, 2011年2月, 編著
- (2) 『国際関係入門－共生の観点から』, 東信堂, 186頁, pp. 155-175, 2011年6月, 共著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 書評：塩原良和著『変革する多文化社会へ－オーストラリアからの展望』, 法政大学出版会, 230頁, 『オーストラリア研究』, オーストラリア学会, pp. 108-111, 2011年3月

IV. 学会発表

- (1) 「オセアニア教育研究のこれから－研究方法をめぐって：オーストラリア多文化教育研究の立場から」, オセアニア教育学会シンポジウム, 於：筑波大学, 2011年11月26日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「多文化(共生)主義の政策的課題と教育における模索」, 多様な共生の概念の批判的検討と共生実現の可能性プロジェクト, 於：龍谷大学深草学舎, 2011年10月22日
- (2) 「教育現場と多文化主義－オーストラリアの事例を中心にして」, オーストラリア学会第13回地域研究会(関西), 於：追手門学院大学, 2011年12月10日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 異文化間教育学会 理事 2011年5月まで
- (2) 日本国際文化学会 常任理事 2011年度
- (3) 日本国際文化学会 紀要編集委員 2011年度
- (4) 異文化間教育学会 紀要編集委員 2011年度

VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「日本における多文化教育の構築に関する研究－外国人児童生徒と共に学ぶ学校教育の創造」科学研究費補助金基盤B 2010～2012年度

前田 美子(まえた・みつこ) [比較・国際教育, 開発教育, 理科教育]

I. 著訳書

- (1) 「開発援助のアプローチ」, 黒澤満編『国際関係入門－共生の観点から』, 東信堂, pp. 113-134, 2011年6月, 単著
- (2) 「文化と比較教育」[学術的探求と比較教育学の領域], マーク・ブレイ、ボブ・アダムソン、マーク・メイソン編著『比較教育研究－何をどう比較するか』, 上智大学出版, pp. 179-238, 2011年6月, 単訳

II. 学術論文

- (1) “Heightened awareness of a researcher’s own culture through carrying out research on development cooperation.” *Comparative Education*, 47 (3), pp. 355-365, 2011年8月, 単著

IV. 学会発表

- (1) “Teachers’ insights into classroom practices in developing countries: from a pilot study in Zambia.” The Comparative International Education Society, 55th Annual Meeting, 於：Fairmount the Queen Elizabeth Hotel, Montréal, Canada, 2011年5月3日
- (2) 「研究者のアイデンティティに関する考察」, ラウンドテーブル『比較教育学の方法―何をどう比較するか―』, 日本比較教育学会第47回大会, 於：早稲田大学, 2011年6月24日
- (3) 「途上国の授業文化に関する研究：ザンビアの事例研究を中心に」, 日本比較教育学会第47回大会, 於：早稲田大学, 2011年6月26日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「科学教育・理数科教育の格差」関西学院大学工学部同窓会50周年記念シンポジウム(パネリスト), 関西学院大学工学部同窓会, 於：関西学院大学中央講堂, 2011年11月12日

VI. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「教員の不正行為に関する研究－カンボジアを事例として」 科学研究費補助金 基盤研究C, 研究代表者 平成21～22, 24～25年度
- (2) 「途上国の授業文化に関する研究：生徒観・教師観・授業観を中心に」 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 研究分担者 平成22～23年度

McCarty, Steve (マッカーティ・スティーブ) [Bilingualism, e-Learning, Japan]

II. 学術論文

- (1) “Ubiquitous Computing and Online Collaboration for Open Education.” In Malaysian Educational Technology Association (Ed.), *Proceedings of the 5th International Malaysian Educational Technology Convention*, 2011年10月, 単著
- (2) “Vlogging Abroad: YouTube Reports from New Zealand to Japan.” *EduTech - e-Journal of Education and Technology*, Issue 1102, 2011年9月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Japanese People and Society.” In JICA (Ed.), *General Orientation 2011*, 2011年7月, 単著

IV. 学会発表

- (1) “Ubiquitous Computing and Online Collaboration for Open Education.”(基調講演) 5th International Malaysian Educational Technology Convention, 於：Kuantan, Malaysia, 2011年10月17日
- (2) “Online Education and Virtual Organizations.”(基調講演) Tech Day Plus conference, 於：Hannan University, 2011年6月19日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) World Association for Online Education 名誉会長&ウェブマスター 2007年～現在に至る
- (2) ベネッセ コーポレーション Worldwide Kids English メーン監修 2006年～現在に至る

(3) Child Research Net Advisory Board Member 2001年～現在に至る

元 百合子(もと・ゆりこ)〔国際人権法・国際関係学〕

II. 学術論文

- (1) 「民族的マイノリティの教育への権利：日本の現状と国際人権基準」, 『立命館法学』第333・334合併号, 1527～1548頁, 2011年3月, 単著
- (2) “Right to Education in Ethnically Diverse Japan: Present Situation and International Human Rights Standards.” *East Asian Review* (大阪経済法科大学アジア研究所紀要), Vol. 14, pp. 83-95, 2011年6月, 単著
- (3) 「複合差別概念の有効性に関する一考察」, 『ジェンダーと法』(ジェンダー法学会、学会誌)第8号, 161-177頁, 2011年7月, 単著, 査読付き

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「マイノリティ女性の国際連帯に向けて」, 『IMADR-JC通信』(反差別国際運動日本委員会)第165号, 2011年2月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「マイノリティ女性の国際連帯の可能性：モントリオール国際女性会議から」, 複合差別研究会, 於：大阪女学院大学, 2011年1月22日
- (2) 「マイノリティ女性に対する複合差別と国際人権法」, 東北アジア平和構想研究会, 於：関西学院大学, 2011年1月22日
- (3) 「民族的マイノリティの教育への権利：日本の現状と国際人権基準」, 専修大学現代文化研究会, 於：専修大学, 2011年2月23日
- (4) 「外国人の子どもの持つ教育への権利とは?」, 奈良県柏原市教育委員会, 於：柏原市立國分図書館, 2011年2月26日
- (5) 「マイノリティの権利に関する国際基準の進展と課題——国連を中心に」 大阪女学院大学国際共生研究所, 平和・人権研究会, 於：大阪女学院大学, 2011年4月13日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本国際人権法学会 企画委員 2010年1月～
- (2) 反差別国際運動日本委員会 企画運営委員 2002年4月～

中井 弘一(なかい・ひろかず)〔実践英語授業学〕

II. 学術論文

- (1) 「高等学校における「英語の授業は英語で行う」についての一考察」, 『大阪女学院大学紀要7号』, 2011年3月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「授業コミュニケーション—教師のことばから授業環境を高めるために—」, 『OJC教職活動報告・研究』vol. 1, 2011年3月, 単著
- (2) 「—中央教育審議会「教職生活の全体を通じた 教員の資質能力の総合的な向上方策について(審議経過報告)」に思う—」, 『大阪女学院大学教員養成センター Newsletter』第5号, 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学, 2011年4月, 単著
- (3) 「授業の玉手箱」, 『教員養成センター newsletter』第5号, 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学, 2011年4月1日, 単著
- (4) 「英語の教え方教室第8回9回・10回報告」, 『教員養成センター newsletter』第6号, 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学, 2011年7月13日, 単著
- (5) 「教員免許状更新講習2011報告」, 『教員養成センター newsletter』第7号, 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学, 2011年10月10日, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「リスニング能力の向上」, 於: 兵庫県立三木高等学校, 2011年3月10日
- (2) 「明日からの授業実践 - 英語授業の哲学 -」, 大阪府高等学校英語研究会総会, 大阪府立高等学校英語研究会, 2011年5月20日
- (3) 「My Interpretation: 高等学校学習指導要領『英語の授業は英語で』—その本質的な課題を見据えて向き合うこと」, 京都教育大学英語の教え方研究会/外国語教育メディア学会関西支部 中学校授業研究部会6月例会, 於: 京都教育大学, 2011年6月12日
- (4) 「聞き取り能力向上の学習法」, 大阪市全商業高校連盟英語教員講習会, 於: 天王寺商業高校, 2011年7月14日
- (5) 「ディベートの基本—論理的に考えるということ」, 於: 兵庫県立姫路飾西高等学校, 2011年7月15日・12月19日
- (6) 「ディベートの考え方—論理的に説得することの意味とそれに必要なこと」, 大阪府立茨木高校教員資質能力向上講習, 於: 大阪府立茨木高校, 2011年7月20日
- (7) 「求められる使える英語力—育成英語の授業は英語で」, 大阪府立茨木高校教員資質能力向上講習, 於: 大阪府立茨木高校, 2011年7月21日
- (8) 「これから求められるディベート能力の育成—論理的に話す力の育成」, 大阪市教育委員会, 事務職員悉皆研修, 2011年8月4日、18日
- (9) 「ディベートの基本—論理的に考えるということ」, 於: 兵庫県立三木高等学校, 2011年9月29日
- (10) 「学習意識を高める指導法」, 四国英語教育研究大会, 徳島県英語研究会, 2011年10月21日
- (11) 「ディベートのおもしろさ」, 於: 兵庫県立西宮西高等学校, 2011年12月15日
- (12) 「英語を学ぶ—英語文化・日本語文化を踏まえたコミュニケーション・ルールの理解—」, 大阪府立東淀川高校特別講義, 於: 大阪府立東淀川高校, 2011年12月16日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 関西英語教育学会 評議員 2011~2012年
- (2) 大阪府立泉陽高等学校英語教育運営指導委員 2009~2011

西井 正弘(にしい・まさひろ) [国際法]

I. 著訳書

- (1) 「国連気候変動枠組条約および京都議定書」, 西井正弘・白杵知史編『テキスト国際環境法』, 有信堂, 76-101頁, 2011年3月, 単著
- (2) 「地球環境問題へのアプローチ」, 黒澤満編『国際関係入門』, 東信堂, 91-112頁, 2011年6月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「環境と人権問題の関わり」, 『きょうと府民だより6月号』(京都府) 第362号, 4面, 2011年6月1日, 単著
- (2) 「育児をめぐる男女の責任」, 『グローブ』((財)世界人権問題研究センター)No. 67(2011秋), 10-11頁, 2011年10月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「国連人権理事会 第1回普遍的定期審査(UPR): 米国の検討」, (財)世界人権問題研究センター-2011年度第3回研究会, 於: 京都市・世界人権問題研究センター会議室, 2011年6月26日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Enduring Jurisdictional Disputes and Issues with Islands.”, Panel Chair, Korean Society of International Law, 於: Young Nam University, Republic of Korea, 2011年10月21日
- (2) 「国際関係法とは何だろう—国際環境法を中心として」, 大阪府立堺東高等学校, 2011年11月

10日

- (3) 「国際結婚の陥穽(おとしあな)－人の越境移動と国際関係法」, 大阪女学院大学オープンキャンパス, 於: 大阪女学院大学, 2011年12月11日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 環境法政策学会 理事 2003年6月～
- (2) 世界法学会 理事 1996年5月～ (理事長選挙管理委員会委員 2011年)
- (3) 国際法学会 評議員 1997年10月～ (新法人最初の評議員選定委員会委員 2011年)
- (4) Development of International Law in Asia(DILA), Councilor & Vice-Chairperson, 2006～2011

奥本 京子(おくもと・きょうこ) [平和学, 紛争転換学, 非暴力介入による平和ワークにおける芸術アプローチ]

I. 著訳書

- (1) 「市民社会・NGOと平和」, 黒澤満編『国際関係入門－共生の観点から』, 東信堂, pp. 25-46, 2011年6月1日, 書籍共著(論文単著)

II. 学術論文

- (1) 「平和アプローチ：非暴力介入による平和ワーク」, 『大阪経済法科大学21世紀社会研究所紀要』第2号, 2011年3月, 単著
- (2) 「修復的正義(RJ)と紛争転換の対話に向けて：トランセンド・ネットワークからの課題提起」, 『共生と修復』第1号, 2011年3月, 単著
- (3) 「平和ワークにおける芸術アプローチの可能性：ヨハン・ガルトゥングによる朗読劇*Ho'o Pono Pono: Pax Pacifica*(『ホーポノポノ「アジア・太平洋の平和」』)からの考察」, 『神戸女学院大学大学院博士学位論文』, 2011年3月, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「台湾でのNARPI第三回運営委員会報告と今年度から開始する『NARPI夏季平和トレーニング』について」, 『トランセンド研究：平和的手段による紛争の転換』第9巻第1号, 2011年6月, 単著
- (2) “The First NARPI Summer Peace Training.” Transcend Media Service, 2011年10月17日, 単著
- (3) 「韓国ソウル+DMZでのNARPI第一回夏季平和トレーニング報告」, 『トランセンド研究：平和的手段による紛争の転換』第9巻第2号, 2011年12月, 単著
- (4) 「中国・瀋陽／大連における国際会議報告：2011年国際平和記念日と東北アジア発展フォーラムをめぐる一連の企画に参加して」, 『トランセンド研究：平和的手段による紛争の転換』第9巻第2号, 2011年12月, 単著
- (5) 「ブックレビュー」, 『アートミーツケア 特集 記憶の場所』Vol. 3, 2011年12月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「東北アジアにおける平和ワーク、そしてトレーニング：芸術アプローチを軸に」, 第49回東北アジア平和構想研究会, 於: 関西学院大学大阪梅田キャンパス, 2011年6月25日
- (2) 「共生と平和ワーク：アクター(主体)は誰か」, 大阪女学院大学第19回平和・人権研究会, 於: 大阪女学院大学, 2011年7月20日
- (3) 「平和学からみた芸術：ヨハン・ガルトゥングのトランセンド理論から」, ヨコハマトリエンナーレ2011連携プログラム, クシシュトフ・ヴォディチコ アートと戦争 国際シンポジウム, 北仲スクール, 於: ヨコハマ創造都市センター(YCC), 2011年8月8日
- (4) “The Arts-based Approach in Peace Work.” Asia-Pacific Peace Research Association (APPRA), 於: 立命館大学国際平和ミュージアム, 2011年10月14日
- (5) 「過程としての国際共生：平和的手段による紛争転換の視点から」, 大阪女学院大学国際共生研究所シンポジウム, 於: 大阪女学院大学, 2011年10月31日

- (6) 「Peace Research: Past, Present, and Future from the Perspectives of Transcend (平和研究の過去・現在・未来：トランセンドの立場から)」, 立命館大学国際地域研究所, 於：立命館大学衣笠キャンパス学而館, 2011年11月22日
- (7) 「芸術アプローチと平和研究の関係について」, 明治学院大学国際平和研究所, 於：明治学院大学横浜キャンパス, 2011年12月3日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「平和学・紛争転換・非暴力介入」, 国際キャリア合宿セミナー2010(国際キャリア開発特論), 宇都宮大学、白鷗大学、作新学院大学、大学コンソーシアムとちぎ, 於：栃木県芳賀青年の家, 2011年2月17～18日
- (2) 「朗読劇プロジェクト2011年度WSシリーズ準備回」, トランセンド研究会, 於：大阪女学院大学, 2011年3月25日
- (3) 「トランセンド日本とトランセンド国際の活動紹介」, NARPI第三回運営委員会 地域NGO交流会 (Peace Grassroots Forum2), 於：台湾、台北市、小藝埕, 2011年4月6日
- (4) 「朗読劇プロジェクト2011年度WSシリーズ第1回」, トランセンド研究会, 於：大阪女学院大学, 2011年5月7日
- (5) 「ミリタリーをどうするか」, 非暴力平和隊・日本, 於：早稲田奉仕園 キリスト教会館, 2011年5月8日
- (6) 「平和学(対話の方法) ワークショップ」, コリア国際学園, 於：コリア国際学園, 2011年5月9日、5月30日、6月20日、7月4日
- (7) 「朗読劇プロジェクト2011年度WSシリーズ第2回」, トランセンド研究会, 於：大阪女学院大学, 2011年6月18日
- (8) 「平和学の思想と実践：英文学から始めて」, 神戸女学院大学 大学院 比較文化学専攻, 於：神戸女学院大学, 2011年7月1日
- (9) 「トランセンド・メソッド入門」, SABONAの会 (SABONA日本), 於：吹田市立岸辺市民センター, 2011年7月9日
- (10) 「朗読劇プロジェクト2011年度WSシリーズ第3回」, トランセンド研究会, 於：大阪女学院大学, 2011年7月30日
- (11) 「NARPI夏のトレーニングのための準備セッション@関西」, NARPI日本, 於：大阪女学院大学, 2011年8月2日
- (12) 「紛争転換ワークショップ」, 東北芸術工科大学, 於：東北芸術工科大学, 2011年8月9日
- (13) 「Historical and Cultural Stories of Peace」 NARPI Summer Training, 於：韓国インジェ (非武装地帯近隣民間人統制区域内) Korea DMZ Peace Life Valley, 2011年8月24～28日
- (14) 「ワークショップ・ミリタリーをどうするか：ガルトゥング博士とともに考える」, 立命館大学大学院国際関係研究科、R-GIRO研究プログラム, 於：立命館大学国際平和ミュージアム中野記念ホール, 2011年9月16日
- (15) 「東北アジアにおける地域的な活動としてのNARPIの位置付けとその意義」, 中国人民平和軍縮協会 (CPAPD)、中国民間組織国際交流促進会 (CNIE)、中国国際交流協会 Chinese Association for International Understanding (CAFIU)、中国平和発展基金会 China Foundation for Peace and Development (CFPD)、遼寧省地方政府、中国人民対外友好協会 (CPAFFC)、中国人民外交学会 (CPIFA)、中国駐在国連システム、遼寧省人民政府, 於：中国遼寧省瀋陽市、大連市, 2011年9月24日
- (16) 「トランセンド・ワークショップ・シリーズ」, 明治学院大学国際学部国際学科, 於：明治学院大学横浜キャンパス, 2011年12月2～3日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 非暴力平和隊・日本 理事 2003年1月31日～現在に至る

- (2) 日本平和学会 平和と芸術分科会 責任者 2005年6月4日～現在に至る
- (3) 国際トランセンド コンビナー(東北アジア地域代表) 2006年～現在に至る
- (4) 財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか) 企画運営委員(展示専門部会) 2007年4月1日～2013年4月30日
- (5) 財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか) 運営協力懇談会委員 2007年8月12日～2013年8月31日
- (6) トランセンド(平和的手段による紛争転換) 研究会 会長 2008年11月24日～現在に至る
- (7) 日本平和学会 分科会責任者連絡会議 副世話人 2009年6月～2011年12月
- (8) NARPI(Northeast Asia Peace Research Institute) 運営委員会委員 2009年～現在に至る
- (9) 日本平和学会 第19期企画委員会委員 2010年1月～2011年12月
- (10) 日本平和学会 第19期理事 2010年1月～2011年12月
- (11) ACTION Asia Leader 2010年11月～現在に至る

関根 聡(せきね・あきら)〔社会学, 家族社会学, 福祉社会学, ジェンダー論〕

II. 学術論文

- (1) 「高齢社会とライフコースの変化」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢』12号, 2011年3月1日, 単著

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「高齢期に向けたジェンダー教育の再考」, 『月刊 Human Rights』2011. 1月号, 2011年1月10日, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「世界、そして日本における男女共同参画について考える」, 八尾市人権ふれあい部人権政策課主催 教員研修会, 於: 八尾市立曙川南中学校, 2011年8月5日
- (2) 「女性が長生きするということ(高齢社会と女性問題)」, 茨木市健康福祉部高齢福祉課主催 「いばらきシルバーカレッジ: 現代社会を読み解くコース」講師(講演), 於: 茨木市立生涯学習センターきらめき, 2011年10月30日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大阪市男女共同参画審議会 委員 2009年8月～2013年8月
- (2) 高槻市男女共同参画審議会 委員 2009年11月～2013年11月
- (3) 八尾市男女共同参画審議会 副会長 2010年9月1日～2012年8月31日
- (4) 高槻市男女共同参画センター 男性セミナー企画運営委員会 委員長 2011年4月～2012年3月
- (5) 学校法人池田五月山教会学園 評議員 2008年4月～2012年3月
- (6) 東大阪市社会福祉協議会: 福祉と人権 推進委員会 オブザーバー 2005年11月～

関根 秀和(せきね・ひでかず)〔大学教育論, 社会学〕

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「「SDの新たな地平」と理念のパラダイム転換」, 『課題研究報告書「SDの新たな地平- 大学人」能力開発に向けて』, 大学教育学会, 2011年7月
- (2) 「新しい教育「文化」の再構築に向けて- 問題意識、教育理念、個性化-」, 『News Letter』Vol. 56, 短期大学基準協会, 2011年10月
- (3) 「自己点検・評価に基づく自己組織活性化を目指す- 短期大学基準協会第三者評価の視点-」, 『カレッジマネジメント 172』, リクルート, 2012年1月
- (4) 「修士レベル化と新しい教育文化の創造」, 『全私学新聞』, 全私学新聞運営委員会, 2012年2月

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「私立大学の教育・研究充実に関する研究会(短期大学の部)」運営委員長, 於: 東京, アルカディア市ヶ谷, 2011年11月14日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大学教育学会常任理事
- (2) 近畿都市学会評議員
- (3) キリスト教文化学会理事
- (4) 大学評価・学位授与機構評議員
- (5) 短期大学基準協会副理事長・第三者評価委員会委員長
- (6) 日本私立短期大学協会副会長
- (7) 大阪私立短期大学協会会長
- (8) 文部科学省 大学における教育情報の活用支援と公表の促進に関する協力者会議委員
- (9) 大学評価・学位授与機構 大学ポートレート(仮称) 準備委員会委員

Swenson, Tamara (スウェンソン・タマラ) [Media studies (Japanese media, Media use, Issues in communication, propaganda), English education, Sociology (ethnocentrism)]

I. 著訳書

- (1) "Narrative frames to assess overseas experiences." In A. Stewart (Ed.), *JALT2010 Conference Proceedings*, pp. 475-486, Tokyo: JALT, 2011年10月, 共著 (with B. Visgatis)
- (2) "Constructed decade sampling for multi-decade studies – An extension of sampling methodologies." In Communication Association Japan (Ed.), *Communication Association of Japan Conference Proceedings*, pp. 8-9, 2011年6月, 単著

II. 学術論文

- (1) "Development of a codebook to examine international media framing of the Darfur crisis." *Osaka Jogakuin University Research Journal*, 6, pp. 1-13, 2011年3月, 単著

IV. 学会発表

- (1) "Media studies, media production: A SCLT approach." The 37th JALT International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exposition, 於: Tokyo, 2011年11月20日
- (2) "Construction and projection of social myths in Japanese export media." European Association for Japanese Studies International Conference, 於: Tallinn, Estonia, 2011年8月26日
- (3) "Constructed decade sampling for multi-decade studies – An extension of sampling methodologies." Communication Association of Japan Conference, 於: Fukuoka, Japan, 2011年6月18日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) Japan Association for Language Teaching, *JALT Journal* Editorial Advisory Board member, manuscript reviewer, 2011年11月～
- (2) Japan Association for Language Teaching, Conference Proposal Reviewer, JALT International Conference, 2011年1月～6月
- (3) Japan Association for Language Teaching, *JALT 2010 Conference Proceedings* Review Board member, JALT International Conference, 2011年1月～8月
- (4) TUJ TESOL Colloquium, *Proceedings of the 2011 TUJ TESOL Colloquium*, Editor (Joint work with D. Meyer & D. Beglar) (publication scheduled for February, 2012), 2011年6月～
- (5) International Communication Association, 2011 Conference Paper Reviewer/Reader (Journalism section, History section, International Communication section), 2011年1月～2月

- (6) International Communication Association, 2012 Conference Paper Reviewer/Reader
(Journalism section, History section, International Communication section), 2011年12月～

寺 秀幸(てら・ひでゆき) [言語学, 英語教育]

Ⅳ. 学会発表

- (1) 『『知と技の創成』を掲げた短期大学英語教育の試み』, 短期大学英語教育研究会, 於: カリタス女子短期大学, 2011年12月3日

東條 加寿子(とうじょう・かずこ) [英語教育, ESP, コーパス言語学]

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Crisis in Japan, Crisis in Communication.”, 『大阪女学院大学教員養成センター NEWSLETTER』第6号, 2011年7月, 単著
- (2) 「大学国際化の足跡を辿る一国際化の意義を求めて一」, 『大阪女学院大学紀要』第7号, pp. 87-101, 2011年3月, 単著
- (3) 「CEFRと日本の英語教育: 一考」, 『2010年度大阪女学院大学教職課程機関誌 OJC教職活動報告・研究』Vol. 1, pp. 70-74, 2011年3月, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) “Building a bilingual corpus of presentations in science and engineering: Purpose, issues and procedures.” The 16th World Congress of Applied Linguistics (AILA 2011), 於: Beijing, China, 2011年8月27日
- (2) “Analysis of rhetorical strategies to identify moves in English research presentations in science and engineering fields.” The JACET 50th Commemorative International Convention, 於: 福岡, 2011年9月2日

Ⅶ. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「理工系口頭発表コーパスに基づいた専門日本語・英語の教育法の開発」 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C(連携研究者) 2011年4月～2012年3月

友野百枝(ともの・ももえ) [通訳教育法, 学部の通訳・翻訳専攻学生の卒業研究について]

Ⅳ. 学会発表

- (1) 「大阪女学院大学の卒業プロジェクトについて」, 日本通訳翻訳学会年次総会, 於: 神戸大学, 2011年9月11日

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本通訳翻訳学会 関西支部 運営委員 2011年10月1日から一年間

Verity, Deryn (ベリティ・デリン) [English, teacher education, TEFL]

I. 著訳書

- (1) “The reverse move: Enriching informal knowledge in the pedagogical grammar class.” In Johnson, K. & P. Golembek, (Eds.), *Research on Second Language Teacher Education: A Sociocultural Perspective on Teacher Professional Development*, ESL & Applied Linguistics Professional Series, Routledge, pp. 153-167, 2011年1月, 単著

Ⅱ. 学術論文

- (1) 2011. “Book review” of M. Swain, P. Kinnear, & L. Steinman, *Sociocultural theory in second language education*, Toronto: Multilingual Matters. Multilingual Education, v. 1, 2011年, 単著

Ⅳ. 学会発表

- (1) “How I was rocked and then humbled: A tale of epic failure and recovery.” Japan Association

- for Language Teaching national conference, 於 : Tokyo, Japan, 2011年 (Joint SIG Forum, “Refreshing Expertise in the University Classroom”)
- (2) “The online class as an arena of activity: Sociocultural principles and course design.” TESOL Conference “Putting Research into Practice.”, 於 : Doha, Qatar, 2011年10月
 - (3) “Grammaring, thinking, and learning: Understanding what language teachers can do” Invited workshop, Miyazaki International College, 於 : Miyazaki, Japan, 2011年7月
 - (4) “Linguistics: There’s an app for that!” International Academic Forum conference on Asian Conference on Language Learning, invited Featured Speaker for the Inaugural, “Connecting Theory and Practice.”, 於 : Osaka, Japan, 2011年5月
 - (5) Moderator, “Panel discussion on professional development: Writing, research & collaboration.” JALT PanSIG conference, 於 : Matsumoto, Japan, 2011年6月

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) Japan Association for Language Teaching, Special Interest Group: Teacher Education and Development. Coordinator, 2010～now
- (2) Japan Association for Language Teaching national conference co-chair (for 2012), 2011年11月